

## 2 市 史



## 市の沿革

印西市は、平成22年3月23日に印旛村及び本埜村と合併しました。合併までの1市2村の沿革は次のとおりです。

### ◇印西市

明治22年の市制町村制施行を受けて、<sup>きおろし</sup>木下町、<sup>おおもり</sup>大杜村（大正2年から<sup>おおもり</sup>大森町）、<sup>ふなほ</sup>船穂村、<sup>えいじ</sup>永治村が誕生し、その後、昭和29年12月1日に、木下町、大森町、船穂村、永治村の一部が合併し、印西町となりました。平成8年4月1日には市制を施行し、平成22年3月23日に印旛村と本埜村を編入して現在に至ります。

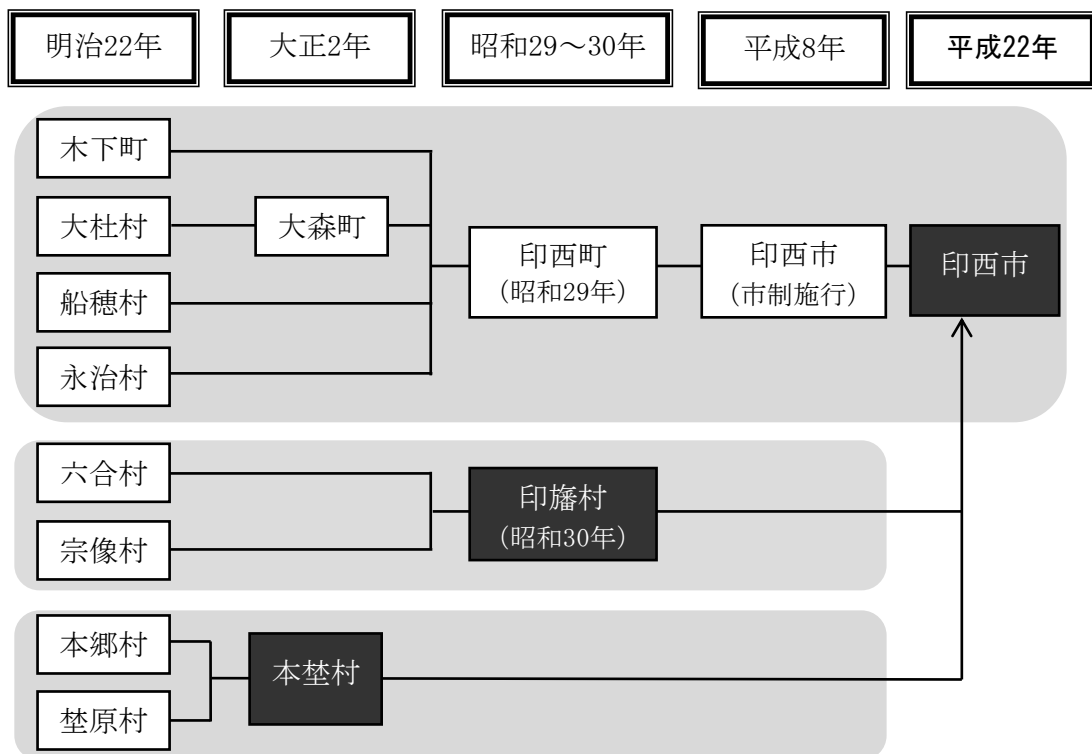
### ◇印旛村

明治22年の市制町村制施行を受けて、12の村々が6か村ずつ合併し、<sup>ろくごう</sup>六合村と<sup>むなかつ</sup>宗像村が誕生し、昭和30年3月10日にはこの2村が合併して印旛村が誕生しました。

### ◇本埜村

明治22年の市制町村制施行を受けて、<sup>りゅうふくじ</sup>龍腹寺村など7か村が合併して<sup>ほんごう</sup>本郷村に、<sup>しもいしんでん</sup>下井新田など17の新田が合併して<sup>やわら</sup>埜原村になり、その後、大正2年4月1日に2村が合併して本埜村が誕生しました。

### 印西市の沿革



## 市の主な出来事

昭和29年	12.1	町村合併促進法に基づき木下町、大森町、船穂村、永治村の一部が合併し、印西町が誕生。役場は旧大森町役場を使用する4町村の各消防団が統合され支団制を敷く。4支団30分団、1,102名	昭和38年	4.	町立学校では初めて大森小学校と印西中学校にプールが設置される
昭和30年	10.1	国勢調査 (人口17,898人／世帯数3,239世帯)		10.	竹袋に町営塵芥焼却場が完成
	12.15	鳥見神社の獅子舞と木造延命地藏菩薩坐像が県の文化財に指定される		11.1	町内初の町立児童遊園を六軒に設置
	10.	第1回農産物共進会を開催		11.3	小林公民館を開館
昭和31年	6.	町立木下保育所を設立			空中農薬散布が始められる
	11.16	農林省手賀沼排水機場が完成			印西音頭ができる
昭和32年	4.1	木下郵便局が印西郵便局に改称	昭和39年	4.28	武西の六座念仏の称念仏踊りが県の文化財に指定される
	11.	第1回町民大運動会を開催		4.	船穂小学校の武西分校が閉校する
昭和33年	4.	木下中、大森中、永治中を統合し、印西中学校を開校		6.	印西地区衛生組合を設立
		印西町体育協会が発足		11.	役場が印旛高校大森校舎跡に移転
昭和34年		第10回印旛郡市民体育大会で印西町が初優勝		12.1	印西町合併10周年
昭和35年	3.	町立学校では初めて印西中学校に体育館が設置される		12.	印西町章を制定
	6.	船穂診療所を開設			町内初の青年館を発作集落に設置
	10.1	国勢調査 (人口17,315人／世帯数3,232世帯)			各集落に防犯連絡所を設置
	11.	第1回印西町文化祭を開催			印西町文化団体協議会が結成される
昭和36年	5.15	印西町広報(現・広報いんざい)創刊	昭和40年	3.	4農協合併により印西町農協が発足
	7.27	沼南と印西を結ぶ手賀沼架橋完成		4.27	木下貝層が県天然記念物に指定される
	9.	都市計画法町全域指定申請		10.1	国勢調査 (人口16,863人／世帯数3,388世帯)
		消防団機構改革。支団制を廃止。30分団、717名			消防団機構改革。10分団、684名
昭和37年	4.1	印西中スクールバス開通	昭和41年	4.7	町立大森幼稚園を設立
	6.	町営防塵処理舗装開始		4.19	別所の獅子舞、いなざき獅子舞が町文化財に指定される
	7.	印西町全域都市計画区域に指定		11.13	印西局の電話が自動式となる
			昭和42年	12.22	浦部の神楽が県の文化財に指定される
				12.27	印西都市計画千葉北部地区新住宅市街地開発事業(千葉ニュータウン事業)施工の都市計画決定
					印西地区衛生組合のし尿処理場が完成
			昭和43年	4.25	月影の井が町文化財に指定される
				12.	印西都市計画印旛沼流域下水道の決定
					木下駅南口の民間宅造事業開始
			昭和44年	3.15	国鉄成田線から蒸気機関車が消える
				8.28	印西電報電話局が開局

昭和45年	9. 旧手賀沼落堀埋立て完成 10. 中央公民館が開館	昭和53年	5. 小林牧の里開発に着手 7. 木下土地区画整理組合が発足 8.2 県消防ポンプ操法大会で消防団(第8分団第2部)が準優勝 10. 第1回少年野球大会を開催 12.9 木下駅構内地下道が開通 12.23 永治小体育館落成式 町営水道事業に着手 第1回農業まつり(産業まつり)を開催
昭和46年	1.31 銅造十一面観音立像が町文化財に指定される 7.31 印西都市計画市街化区域と市街化調整区域の決定(線引き) 9.21 交通安全宣言町を宣言する 10.1 国勢調査 (人口16,114人/世帯数3,514世帯)	昭和54年	3. 印旛高校、甲子園(選抜大会)初出場 木下保育所を建て替える 4.24 商工会館完成
昭和47年	3.19 町の木として「黒松」を指定する 3.20 町内初の古墳発掘調査(小林鶴塚古墳) 4.1 消防団常備部を設置。救急業務も開始 10.19 印西町防犯組合を設立 10.26 第1回消防団消防ポンプ操法大会開催 12. 第1回交通安全町民大会を開催	昭和55年	1. 印西町基本計画を策定する 1.29 新中央公民館が開館 3.17 大森保育所を建て替える 保健センター(現・印西市大森保健センター)設置 8.7 大森土地区画整理組合が発足 9.10 観音堂の松と鋳銅鰐口がそれぞれ町天然記念物、町文化財に指定される 11.1 大森小学校新校舎完成 町内全小中学校の体育館設置が完了
昭和48年	3. 印西都市計画手賀沼流域下水道の決定 4.1 印西地区消防組合を設立 6.13 印西町総合開発基本構想を議決 「将来都市像…水と緑の健康で明るい住み良い住宅都市」 7. 第1回町民号お座敷列車で名古屋方面へ 8.1 第1回少年キャンプ大会が開催される 8. 都市計画道路・印西バイパス計画決定 9.29 長楽寺の梵鐘が県文化財に指定される	昭和56年	3. 第1回町民ロードレース大会が開催 第1回住民福祉大会が開催 10.1 国勢調査 (人口17,896人/世帯数4,364世帯) 12.1 名誉町民称号を福田孝氏に贈呈
昭和49年	1.19 上宿古墳が町文化財に指定される 7. 永治小学校創立100周年 9.28 国鉄成田線が電化される 11.25 第1回ママさんバレーボール大会開催 12.1 印西都市計画用途地域決定	昭和57年	3. 印旛高校野球部第53回選抜大会で準優勝 4. 印西バイパスの主要区間が開通 8.4 特別養護老人ホーム「みどり荘」が完成 12.14 公共下水道供用開始
昭和50年	12.1 印西町合併20周年 12.8 印旛駅伝競走大会で印西町が初優勝 公共下水道事業に着手	昭和58年	5.3 ゴミゼロ運動始まる 8.5 弥陀一尊武蔵型板碑、弥陀三尊下総型板碑、観音寺鋳銅鰐口が町文化財に指定される 8. 台風10号による利根川増水被害 9.1 小林小学校新校舎落成 10.25 町営水道給水開始 ボランティア協議会が発足 第1回みなづき祭開催
昭和51年	1. 第1回正月マラソン大会が行われる 8.4 六幸橋が竣工する 10.1 国勢調査 (人口16,833人/世帯数3,951世帯)	昭和59年	3.12 印西町基本構想を議決 「将来都市像…水と緑の豊かな健康で明るく住み良い住宅都市」
昭和52年	4. 印西地区環境整備事業組合を設立 8.3 役場が現在地に移転する		
昭和53年	4. 印西町社会福祉協議会が法人化される		

	4.	印西町基本計画策定	平成元年	
	7.27	降ひょう被害、農作物に大打撃	4.1	東京基督教大学開校
	8.	印旛高校野球部第65回全国高校野球選手権大会に出場	4.9	原山小学校開校
昭和59年			4.15	松山下公園の一部施設オープン (ゲートボール場、遊戯広場)
	3.1	印西町役場ニュータウン出張所開所	7.1	県道鎌ヶ谷本埜線の一部開通
	3.16	千葉ニュータウン入居開始		アメリカから女性教師来日 (外国人による英語教育スタート)
	3.18	住宅都市整備公団鉄道千葉ニュータウン線開業	9.30	コスモスサミット開催
	4.1	印西消防署ニュータウン出張所開所 (現・印西消防署 町内初はしご付き消防自動車配備)	11.3	第1回木下街道膝栗毛
		印西町史編さん事業開始	平成2年	
	4.3	内野保育園、木刈保育園開園	3.1	印西中学校屋内運動場、柔剣道場完成
	4.5	内野小学校、木刈小学校、木刈中学校開校	3.8	いんざい新基本構想を議決 「将来都市像…ふれあいとうるおいのある多機能自立都市」
	4.23	学校給食センター稼働開始	3.23	名誉町民福田孝氏町へ5億円寄付
	5.3	町青年団協議会誕生	4.1	東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス開校
	6.6	北千葉揚排水機場完成(手賀沼の浄化と水害防止に威力)	4.3	高花保育園開園
	11.2	町の花として「コスモス」を指定する	4.5	小林中学校、原山中学校開校
	12.1	印西町合併30周年	9.11	ふれあいバス運行開始
昭和60年			10.1	国勢調査 (人口41,718人／世帯数11,449世帯)
	4.	コスモスの花いっぱい運動開始	平成3年	
	10.1	国勢調査 (人口23,373人／世帯数6,036世帯)	2.2	(故)香取正彦氏(人間国宝)制作の「印西平和の鐘」が町に寄付される
昭和61年			3.31	北総公団線都心直通乗り入れ
	3.	印西クリーンセンター竣工	4.5	小林北小学校、小倉台小学校、高花小学校開校
	8.28	印西中学校新校舎完成	4.	第1次基本計画・実施計画を策定
	9.23	第1回コスモスマつり開催	5.11	千葉県ラグビーまつり開催
昭和62年			6.4	吉岡家河岸関係文書、小金牧鹿狩資料 「村小旗」が町文化財に指定される
	3.31	船穂診療所廃止	6.9	「ふれあいいんば'91」県民の日印旛地域行事を開催
	4.1	防災行政無線開局	7.15	松山下公園陸上競技場オープン
	4.9	中央駅前センター開所	平成4年	
	4.29	名誉町民福田孝氏勲三等瑞宝章受章	2.26	木刈中学校柔剣道場完成
昭和63年			3.4	平成3年千葉県広報コンクール町村I部第1席
	3.12	船穂中学校体育館完成	3.27	船穂中学校柔剣道場、プール、特別教室、多目的室完成
	3.26	第1回センターまつり開催	8.28	人口50,000人突破
	4.1	印西町民憲章制定	平成5年	
	4.17	松山下公園の一部施設オープン (テニスコート)	2.26	全国町村会から優良町村として表彰
	10.	新住宅市街地開発事業計画変更 (千葉ニュータウン特定業務施設導入)	3.4	平成4年千葉県広報コンクール町村I部第1席
	11.6	印西中学校創立30周年		
昭和64年				
	1.4	住民記録オンラインシステム稼働開始		

3.25	小林中学校、原山中学校柔剣道場完成	4.28	南北コミュニティセンター開館 (フレンドリープラザ、サザンプラザ)
3.26	木下街道膝栗毛で平成4年度千葉県優良 施策町村に選ばれる	6.9	NHKのど自慢開催 (東京電機大学福田ホール)
4.1	全国町村人口日本一(人口51,753人)と なる	9.1	第17回七都県市合同防災訓練を西の原地 先にて実施
4.15	印西地区環境整備事業組合温水センター オープン	9.20	故伊藤利明市長に名誉市民称号贈呈
5.17	木下小学校創立120周年	11.24	市制記念 第九演奏会 (東京電機大学福田ホール)
6.14	保健福祉センター開所	平成9年	
7.2	図書オンライン稼働開始	1.28	総合福祉センター落成記念式典
7.14	大森小学校創立100周年	2.21	市シルバー人材センター設立総会
9.3	印西郵便局新局舎が完成	4.1	市組織変更により部制施行 総合福祉センターオープン
11.6	船穂小学校創立120周年	4.6	松山下公園に野球場オープン
11.4	第1回いんざいニコニコまつり開催	5.1	「広報いんざい」が月2回発行になる
平成6年		5.11	旧大森中学校(町村合併後、昭和33年に 印西中に統合)の50周年記念事業
2.22	銅造十一面観音立像が県文化財に指定さ れる	5.28	小倉台小学校に自然観察園「ふれあいの里」 が完成
3.	都市マスタープラン策定	8.17	「印西とねがわ花火大会」を開催
3.4	平成5年千葉県広報コンクール町村 I 部 第1席	8.25	市内初のライスセンターが大森に完成
3.18	牧の原出張所業務開始	9.15	原地区(草深)開拓50周年記念式典
3.26	印西町スポーツ少年団が結成	平成10年	
4.1	西の原保育園開園	2.2	小林駅～印西牧の原駅間に路線バスが運行
4.5	西の原小学校、西の原中学校開校	4.1	「草深の森」オープン 市残土条例施行
4.29	草深ふるさと農園オープン	4.4	千葉ニュータウンふれあい市スタート (毎週土曜日午後1時より)
6.7	全国町村人口日本一達成記念碑が完成	7.27	市民ふれあい懇談会スタート(第1回開催)
7.6	文化ホール、図書館オープン	8.19	名誉市民福田孝氏逝去
8.24	平成5年全国広報コンクール町村 I 部 第3席	12.1	ふれあい文化館がオープン
11.5	草深小学校創立120周年	平成11年	
12.1	町制施行40周年	2.2	図書館そうふけ分館開館
平成7年		3.25	武西の百庚申塚が市文化財に指定される 地域振興券交付開始(9月24日まで) 永治プラザ完成
4.1	印西牧の原駅が開業	4.1	牧の原公園オープン
4.3	小林コミュニティプラザがオープン	5.25	印西地区一般廃棄物最終処分場が印旛村 に完成
10.1	国勢調査 (人口57,667人/世帯数16,583世帯)	5.28	故福田孝名誉市民のブロンズ像除幕
10.11	非核平和都市を宣言	7.24,25	郡市民体育大会、印西市で開催
平成8年		10.1	市民運動会が「スポーツ・健康フェスタ」に
1.17	町議会で「印西町を印西市とすることに ついて」を可決	平成12年	
2.29	平成7年千葉県広報コンクール町村 I 部 第1席	2.	市役所庁舎増築棟(庁舎別館)が完成
3.22	市制施行の自治省官報告示	3.	子育て支援策「印西市子どもプラン」策定
4.1	市制施行(県内31番目、全国666番目) 原小学校開校 牧の原学校給食センター新設		

3.	緑に関する総合計画「緑の基本計画」まとまる	平成16年	3.	生涯学習推進基本計画を策定
4.24	市南部を中心に降ひょう。昭和58年以来の被害			都市マスタープランを策定
4.28	県立北総花の丘公園がオープン		7.1	男女共同参画プランを策定
5.24	2度目の降ひょう。前月以上の大被害		7.1	市民活動推進条例を施行
6.1	小倉台図書館が開館		7.	市民談話室を開設
6.1	千葉ニュータウン中央駅北口広場の供用開始		8.31	印西市・白井市・印旛村・本埜村合併協議会を廃止
7.22	北総・公団線「印西牧の原駅～印旛日本医大駅」間が開通		11.20	健康都市を宣言
9.26	印西市基本構想を議決 「将来都市像…人と自然が笑顔でつながるまちーいんざいー」	平成17年		保健計画「健康いんざい21」を策定
10.1	国勢調査 (人口60,468人／世帯数18,507世帯)	1.12	1.12	千葉ニュータウンまちづくり懇談会発足
10.1	情報公開条例、個人情報保護条例を施行	2.21	2.21	「印西市と東京電機大学の連携協力に関する協定書」締結
平成13年		3.	3.	中心市街地活性化基本計画策定
2.22	市ホームページ開設	4.1		次世代育成支援行動計画(前期計画)策定
2.	インフルエンザ予防接種、65歳以上に無料接種	4.1	4.1	そうふけふれあいの里全館オープン
	全小学校のパソコンでネット接続が可能に	4.1	4.1	北総線「割引通学定期乗車券」発売開始
	子育て支援センター事業開始	8.16	8.16	泉新田大木戸野馬堀遺跡が市文化財に指定される
10.	プラスチック製容器包装ゴミ分別収集を開始	8.20,21	8.20,21	市民ミュージカル「ふるさと印西」公演
	印旛高校が創立100周年記念	8.30	8.30	(仮称)平岡自然公園火葬場・斎場の建設
	成田線全線開通100周年記念事業	10.1	10.1	工事始まる
平成14年		10.1	10.1	国勢調査 (人口60,060人／世帯数19,670世帯)
1.15	市民活動支援センターがオープン	平成18年		
3.	情報化計画を策定	2.1	2.1	中央駅前子育て支援センター、小林子育て支援センターがオープン
3.19	木下貝層が国の天然記念物に指定される	5.	5.	いんざい水の郷ネットワークが「ぶらり川めぐり」の定期運行を開始
12.26	5市町村(印西市・白井市・印旛村・本埜村・栄町)が市町村合併任意協議会を設置	6.10	6.10	市民安全センターの開設・防犯パトロール隊の発足
平成15年		6.22	6.22	いんざい産学連携センターがオープン
1.	中学生議会、昭和59年以來の開催	7.14	7.14	市民会議「印西市の市民参加条例をつくる会」発足
3.	生涯学習まちづくり推進基本構想まとまる	8.2	8.2	木造不動明王立像及び毘沙門天立像(小林・西福寺)を市文化財に指定
4.1	印西市・白井市・印旛村・本埜村合併協議会を設置	11.18	11.18	市制施行10周年記念式典を開催
4.1	船穂コミュニティセンターがオープン	12.15	12.15	安全で安心なまちづくり推進条例制定
4.	草深小学校を西の原小学校へ統合	平成19年		
4.	企業立地促進条例を制定	1.	1.	医療整備基本構想を策定
	環境基本計画を策定	1.25	1.25	公益信託印西市まちづくりファンドを設置
10.	合併協議会、「新市将来構想」策定	4.1	4.1	ファミリーサポートセンターを開設
	印旛飛行場跡地に「平和の碑」が建立される	6.1	6.1	印西斎場利用開始
11.	平岡自然公園起工式	6.22	6.22	ふれあいバス利用者が5万人を突破
		9.26	9.26	印西牧の原駅自由通路(牧の原ロードブリッジ)開通

平成20年	12.5	岩井家住宅主屋が国の登録有形文化財に登録される	平成24年	4.	中央駅前地域交流館開館。施設内に中央駅前出張所、市民安全センター、市民活動支援センター、ファミリーサポートセンターが移転
	1.15	歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例が施行			
	3.18	馬込遺跡(平岡)出土瓦塔が県の有形文化財に指定される			牧の原出張所移転
	5.24	「平岡自然の家」竣工式		10.	IFSCリードワールドカップ2012 INZAI大会開催
	6.25	(仮称)印西市総合体育館の建設に着工	平成25年	3.1	木造不動明王立像及び毘沙門天立像(小林・西福寺)が県の有形文化財に指定される
7.1	地域防災計画を策定	3.		印西市教育振興基本計画を策定	
8.1	市民参加条例が施行	4.1		事務処理市(開発許可など)及び限定特定行政庁(建築確認など)に移行	
10.24	印西市・印旛村・本埜村合併問題懇談会を設置	4.1		自転車の安全・安心利用に関する条例を施行	
12.17	JR木下駅自由通路及び駅舎の供用を開始	7.4		泉公園パークゴルフ場オープン	
平成21年	1.9	印西市・印旛村・本埜村合併協議会(法定)を設置	7.	JR木下駅北口駅前広場完成	
	3.	印西地区ごみ処理基本計画策定	10.16	台風26号による浸水・土砂災害が多数発生	
	3.31	ちばレインボーバス・木下線が廃止	平成26年	1.4	印旛支所、印旛地域包括支援センターが「ふれあいセンターいんば」に移転
	4.1	印西牧の原駅南北駅前広場が完成		1.24	「印西市と順天堂大学との連携協力に関する協定書」を締結
	4.	定額給付金・子育て応援特別手当の申請受付を開始		3.24	道作1号墳・道作4号墳・道作5号墳が市の文化財に指定
6.1	印西霊園の利用開始	3.26		ホテルマークワンと災害発生時の協力協定を締結	
8.1	子ども医療費助成制度を開始	7.1		臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の申請受付開始	
平成22年	3.	松山下公園総合体育館完成	7.15	国道464号北千葉道路印西牧の原駅-印旛日本医大駅が開通	
	3.23	印西市・印旛村・本埜村の一市二村が合併し、新「印西市」誕生	8.2~4	インターハイ空手道競技が松山下公園総合体育館で開催	
	7.17	成田スカイアクセス線開業	11.9	小林駅「橋上駅舎」と「自由通路の一部」が暫定利用開始	
	9.11	新市の市民憲章制定、市の花「コスモス」、市の木「サクラ」、市の鳥「メジロ」、市の魚「ナマズ」が決定	11.28	次期中間処理施設の建設候補地が吉田地区に決定	
	10.1	国勢調査 (人口88,176人/世帯数29,622世帯)	12.5	加藤凌平氏(順天堂大学)に市民栄誉賞	
平成23年	10.	第65回国民体育大会山岳競技を開催	平成27年	3.14	上野東京ライン開業
	3.	本庁舎の耐震補強等改修工事が完了	4.	牧の原小学校開校・牧の原地域交流センター開館	
	3.11	東日本大震災が発生、市内では震度6弱を記録	8.3	印西市プレミアム付商品券の販売開始	
	9.	環境保全課に放射線対策室を設置	9.16	小林駅自由通路の開通式典	
	9.13	印西市基本構想を議決 「将来都市像…ひと まち 自然 笑顔が輝くいんざい」	10.1	国勢調査 (人口92,670人/世帯数32,590世帯)	
	11.16	「いんざい君」市のマスコットキャラクターに決定			

平成28年	12.24 早坂尚人氏、萱和磨氏(共に順天堂大学)に市民栄誉賞	令和2年	2. 新型コロナウイルスの感染拡大により公共施設の休止や小中学校を休校
	4.23 市制施行20周年記念式典		4. 新型コロナウイルス感染症に係る印西市独自支援策を実施
	4.27 木下交流の杜歴史資料センター開所		9.3 印西市基本構想を議決
	5. 木下貝層が県の石(化石)に選定		「将来都市像…住みよさ実感都市 ずっとこのまち いんざいで」
	5.21 出張!なんでも鑑定団in印西の開催		10.1 国勢調査 (人口102,609人/世帯数38,349世帯)
	9.23 東の原の掩体壕が市文化財に指定される	令和3年	7. アメリカ体操女子代表チーム、オランダ体操男子・女子代表チーム、アイルランド体操男子代表チームの東京2020オリンピック事前合宿
平成29年	10.26 田中佑典氏(順天堂大学卒)に市民栄誉賞 加藤凌平氏(順天堂大学卒)、澤野大地氏(木下小学校・印西中学校卒)に印西市長特別賞		7.~9. 東京2020オリンピック・パラリンピック開催
	1.25 村田沙耶香氏(木刈小学校・木刈中学校卒)に印西市長特別賞		9.8 橋本大輝氏(順天堂大学在学中)に市民栄誉賞、萱和磨氏(順天堂大学大学院在学中)に市長特別賞
	2.5 NHKのど自慢開催 (松山下公園総合体育館)		9.21 三浦龍司氏(順天堂大学在学中)に市長特別賞
	2.12 印西スマイルマラソン開催		9.27 宇山芽紅氏(印西市出身)に市長特別賞
	2.19 北千葉道路の一部が開通		10.22 佐野優人氏、荻原虎太郎氏、山崎晃裕氏、宇城元氏(共に順天堂大学在学・在勤)に市長特別賞
	3.31 岩戸幼稚園・大森幼稚園・大森保育園・木下保育園が閉園		11.19 北総鉄道株式会社が令和4年10月1日からの運賃値下げ実施を発表
	4. 永治小学校を木刈小学校へ統合	令和4年	4. ウクライナ緊急支援プロジェクト(人道危機支援金、ふるさと寄附金、避難民への人道支援、職員有志寄附)の実施
平成30年	8. 中央学校給食センター(コスモスキッチン)新設		5.22 第1回「印西まちなか音楽祭」を開催
	4. 木下交流の杜公園が開園		8. 印西市物価高騰対策プロジェクト(物価高騰対策臨時特別給付金、給食賄材料費高騰対策事業、路線バス運行対策事業)の実施
	5.29 人口10万人突破		9. 第3子以降学校給食費無償化の実施
	6.14 人口10万人突破記念式典		10.1 北総鉄道(株)が運賃を値下げ
	9. 印西市景観条例を制定	令和5年	1.6 人口11万人突破
	10.13 イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施		9.1 木下駅前にぎわい広場オープン
平成31年	12. ふれあいサポートセンターいんざいが開所		10. 児童発達支援センター開設
	4. 宗像小学校をいには野小学校へ統合 本塾第一小学校と本塾第二小学校が統合して本塾小学校が開校		11.4 「いんざいふるさと産業まつり」を開催 (「いんざいふるさとまつり」と「いんざい産業まつり」を統合した)
令和元年	5. PR動画「印度じゃないよ、印西市」が観光映像大賞ファイナリストに選出	令和6年	3.27 県道鎌ヶ谷本塾線バイパスが開通
	8. 女子ソフトボール日本代表(U-19)がワールドカップの事前合宿		4.1 高花学校給食センター新設
	9.9 令和元年房総半島台風(台風15号)により家屋、農作物等の被害及び大規模停電の発生		
	10. 令和元年東日本台風(台風19号)及び令和元年10月25日の大雨により、浸水、土砂災害が多数発生		

5.1	広報いんざい通算1000号発行
5.31	印西市ゼロカーボンシティを宣言
8.25	印祭サマーフェスを開催
9.	学校給食費無償化の実施
10.11	三浦龍司氏(市内在住)に市長特別賞
10.22	山崎晃裕氏(順天堂大学職員)、石山大輝氏(順天堂大学大学院)、荻原虎太郎氏(順天堂大学)に市長特別賞
12.10	市民課内におくやみコーナーを新設
令和7年	
2.14	小林駅南口駅前広場の供用を開始
4.1	コスモスパレットがオープン
8.1	保健センターを総合保健センター(中央南)と大森保健センターに集約
8.9	第1回コスモスパレット夏祭りの開催
9.	東京2025世界陸上オーストラリア・ニュージーランド代表が事前キャンプを実施
10.	令和7年10月号から広報いんざいを市内の全世帯へ配布。また、月1回の発行に変更
10.1	国勢調査
10.14	印西市と白井市とのまちづくりに関する連携協定を締結